

岡崎組ら

## 生産性向上へIT活用を 建設業向けセミナー

宮崎市の株式会社岡崎組(岡崎勝信代表取締役)とスパークジャパン株式会社(岡田憲明代表取締役社長)が共催する「建設業のためのIT活用セミナー」が、15日に宮崎市で開かれた。セミナーには、県内の中小建設業や取引企業の担当者ら21人が参加し、生産性向上に向けたITの導入事例やその効果などを熱心に学んだ。写真。

電子入札や電子納品、

ICTを活用した施工など、業務や作業のIT化が建設業界で主流になりつつある中、岡崎組では企業間における請求書を電子化した「電子請求書プラットフォーム」、顧客情報や顧客対応履歴を蓄積して管理する「顧客管理システム(CRM)」を導入するなど、業務の効率化と生産性の向上を図っている。

セミナーでは、岡崎組の岡崎社長が「業界はI

T活用でもっと変われる！」をテーマに講演。同社が管理項目に掲げる「人時生産性」(従業員1人が1時間に稼ぐ粗利額)を向上させるため、前述のITに対する投資や作業の統廃合・簡素化、アウトソースを推進し、徹底した無駄の廃止や仕組みの改善に取り組んでいることを紹介した。

また、同社に於けるIT導入事例として、企業間の請求書を電子化し、

コスト削減や時間短縮を図る「BtoBプラットフォーム」、顧客情報や顧客対応履歴を蓄積して管理する顧客管理システム「セールスフォース」の仕組みや特長を各社の担当者が説明したほか、実際にシステムを使ったデモンストラレーションも行われた。

岡崎組では6月にも同様のセミナーを開催する予定でいる。問い合わせ先は同社管理部(電話0985-5310567・担当||宮浦)まで。

